

# 琉球大学学術リポジトリ

## 沖縄関係 沖縄返還協定批准書交換式

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2019-02-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43575">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43575</a>

報道関係

批准書交換式(報道関係)メモ

47.3.9  
北半1

1. 報道課鹿野会より送附の連絡次のとおり。

(1) ナマ テレビ 放送はない。

(2) テレビ フィルム用の取材あり。

(注) 挨拶<sup>取材用</sup>のマイク用意(代表マイク?)

(3) 報道関係者には前広に出席者名を知らせる要あり。

【小林 裕吉】

2. 総理府式典準備室より、同府広報用字巻取材に付き、次の2社の取材につき式典入場許可を依頼あり。

(1) スタイトル字巻 2名

日本写真新聞社(唐沢 小林義雄)

(2) テレビ字巻

読賣映画社 5名(杉原文治、伊藤義一、宮崎)

岩本チー、加川友男) 外務省

GA-6

2. 1. オリンピック  
2. もり  
3. カ  
4. ナ

沖繩返還協定の批准書の交換について

沖繩返還協定の批准書の交換は、三月十五日午後三時より、外務省（新館七階南側大会議室）において、日本側福田外務大臣と米側側マイヤー駐日大使との間で行なわれる。

沖繩返還が本年五月十五日に実施されることについては、先般のサン・クレメンテにおける佐藤総理大臣とニクソン大統領との会談において決定をみているところであるが、三月十五日に批准書が交換されることにより、返還協定第九条の規定に従い、本年五月十五日の沖繩返還の実施が日米間において法的に確定することとなる。

なお、批准書の交換には、米側からはスナイダー公使等主要大使館員が、日本側より、山中総務長官、愛知前外務大臣等がそれぞれ同席の予定である。また、佐藤総理大臣も国会等の関係で都合がつけば出席する予定である。